

令和6年度

# 産業保健セミナー

無料

対象者 産業医、保健師、看護師、安全管理者、衛生管理者、安全衛生推進者  
人事労務担当者、事業主、労働者、その他

会場 静岡労政会館  
(静岡市葵区黒金町5-1)  
静岡県男女共同参画センターあざれあ  
(静岡市駿河区馬淵1-17-1)  
アクト研修交流センター  
(浜松市中央区中央3-9-1)

時間 14:00 ~ 16:00 (受付開始13:30~)

定員 40名程度 (各部屋の定員数をもって締切)



※受講票は発行しておりません。定員に達して受講できない場合のみご連絡いたします。  
※急遽、中止となる可能性がございますが、その際、原則として参加者への個別の連絡はいたしませんので、HP「セミナー開催状況」をご確認いただくか、直接お電話にてお問い合わせいただきますようお願いいたします。

※欠席される場合は、事前にご連絡をお願いいたします。(☎ 054-205-0111)

## 5月 ~ 8月

回数	開催日	テーマ・内容	講師
1	5月13日(月) 静岡労政会館	<b>ラインケア研修に活用できるコミュニケーション講座</b> 労働者の心の健康の保持増進のための指針において、ラインによるケアとして管理監督者に求められるのは、職場環境等の把握と改善、労働者からの相談対応です。また事業者は、ラインによるケアを促進するため、教育研修、情報提供を行うものとされています。この講座は、労働者からの相談対応に焦点を当て、産業保健スタッフ等が講師として教育研修を実施する際の参考になるよう、デモンストレーションとして実施します。	戸松 幹雄 促進員 (メンタルヘルス)
2	5月20日(月) 静岡労政会館	<b>産業保健の現場で活用する認知行動療法</b> ストレス状態になると辛い考えが頭の中でぐるぐるしてしまうものです。認知行動療法とは、辛くなった時に少し立ち止まり、その時に頭に浮かんでいる考えを現実にとった柔軟なバランスのよい考えに変えていくことで、その時々を感じるストレスを和らげる方法です。人を変えることは困難ですが、考えを変えることは出来ます。認知行動療法を日頃の相談活動で活かせるように学びます。	高林 真子 促進員 (メンタルヘルス)

回数	開催日	テ ー マ ・ 内 容	講 師
3	5月29日(水) 静岡労政会館	<p style="text-align: center;"><b>治療と仕事の両立支援 －事例から学ぶ社会保障制度－</b></p> <p>病気になり後遺症が残った場合、復職への不安・経済的な不安を持ちがちです。公的制度を利用しつつ復職を目指す従業員をサポートするためには、支援する側も十分な知識を持つことが必要です。今回のセミナーでは事例を通して利用可能な制度を学び、復職を目指す従業員にどのような支援ができるか一緒に考えて行きましょう。第7回(6月14日開催)のセミナーと同じ内容です。</p>	鈴木 利彦 促進員 (両立支援)
4	6月6日(木) 静岡労政会館	<p style="text-align: center;"><b>産業保健体制づくり</b></p> <p>企業等において、人事労務担当者や産業医や保健師など複数の職種で連携しながら産業保健関連業務を展開していく中で、その企業の業種・規模・業務形態に応じた適切な体制が必要になると考えられます。それぞれの職種の責任や強みなども意識しながら、いくつかの例を交え、どのような体制が望ましいのか、どのような問題が起こりやすいかについてお話します。</p>	遠田 和彦 相談員 (産業医学)
5	6月7日(金) 静岡労政会館	<p style="text-align: center;"><b>特殊健康診断の基礎知識</b></p> <p>令和5年4月から特殊健康診断の実施回数の緩和が認められるようになりました。効果的な特殊健診の受診のためには、作業内容を把握し、問診票へ実際の作業内容を反映させた上で受診することが必要です。安衛法における特殊健診の位置づけから、事業者・作業者が受診前に注意する点をお伝えできればと思います。</p>	宇田 真弓 相談員 (労働衛生工学)
6	6月11日(火) 静岡労政会館	<p style="text-align: center;"><b>災害時のセルフケアと支援活動の基本</b></p> <p>自然災害や事故、事件、自死等の危機的状況に遭遇した場合のセルフケアの方法や深刻なストレスを抱える従業員やその家族に対する支援法を具体的に学びます。東日本大震災以降、国内で普及が図られているサイコロジカル・ファーストエイド(心理的応急処置)の手法をもとに、危機的状況にある人のレジリエンス(心の回復力)を引き出し、高める方法をお伝えします。</p>	清水 達也 促進員 (メンタルヘルス)
7	6月14日(金) アクト研修 交流センター	<p style="text-align: center;"><b>治療と仕事の両立支援 －事例から学ぶ社会保障制度－</b></p> <p>第3回(5月29日開催)のセミナーと同じ内容です。</p>	鈴木 利彦 促進員 (両立支援)
8	6月19日(水) 静岡労政会館	<p style="text-align: center;"><b>クリエイトシンプルの使い方(新バージョン)</b></p> <p>厚労省が開発したCREATE-SIMPLEが省令改正に対応し6年2月にバージョンアップしました。混合物中の成分(最大10物質)の一斉評価機能の追加やユーザーデータを入力できるデータベース(製品DB)を追加するなどツール機能のアップに加え、濃度基準値、DFG MAK、その他のばく露限界値の入力欄の追加や短時間濃度基準値への対応のための短時間ばく露の評価機能を追加するなどその手法も大幅に改善されました。CREATE-SIMPLEの新バージョンの使い方を解説します。</p>	土屋 真知子 相談員 (労働衛生工学)



回数	開催日	テーマ・内容	講師
9	6月20日(木) あざれあ	<p><b>相談対応者のためのメンタルヘルス －疲れたところを癒そう－ 第2弾</b></p> <p>職場では、産業保健スタッフや労務管理担当者等が従業員の様々な相談に応じています。相談対応者はその相談に際して、「この対応でよかったか」「少し厳しい言い方をしてしまった」「相談者がわかってこない」などといった負の感情を抱えやすいものです。これらはストレスとなって相談対応者の心に蓄積されていきます。本セミナーでは、「コラーージュ」「リラクゼーション法(漸進的筋弛緩法・呼吸法)」などを通じて相談対応者のストレス軽減を図っていきます。</p> <p>※昨年度の同名セミナー第1弾を受講していなくても受講可能です。切り抜いてもよいファッション雑誌など数冊、ハサミ、のりを持参して下さい。</p>	杉本 好行 相談員 (カウンセリング)
10	6月28日(金) 静岡労政会館	<p><b>元気な職場と自分であり続けるために －部下を持つ人のラインケア、セルフケア－</b></p> <p>管理監督者の方にお話をお伺いすると、多くの方から「元気な職場を作りたい」という思いをおきします。しかし、なかなか現実には難しく「理想だけどね」というお話もされます。本研修では「管理者って何を求められているのか」その中で「部下だけでなく、自分自身も含めて職場全体が元気であり続けるには何が必要なのか」ラインケアやセルフケアという観点から見直したいと思います。</p>	菊池 光洋 促進員 (メンタルヘルス)
11	7月 5日(金) 静岡労政会館	<p><b>メンタル不調者との対応</b></p> <p>メンタル不調者と言っても、例えば、ストレスチェックで高ストレス者もまだ精神科先生への受診が必須程ではない人から、十分に配慮しているにもかかわらず何度も休みを繰り返したりして、雇用継続で揉めている方まで様々です。今回は、これらメンタル不調者のうち就労との折り合い探しに難渋している方への会社対応をどうすれば良いのか、その核心・最も共通した良き拠り所となる様なものを、少し産業医目線ではありますが、探って考えてみたいと思います。</p>	杉 敏彦 相談員 (産業医学)
12	7月17日(水) 静岡労政会館	<p><b>やさしい測定機器の使い方</b></p> <p>事務所等の空気環境は、快適な状態に維持することが求められています。本セミナーでは難しい、面倒くさいと思われがちなWBGT、照度、風速、検知管によるガス濃度、騒音等の測定を実際の測定器具を使って実習します。普段、測定器具を取扱う機会の少ない方、これまでに全く使ったことのない方、新たに産業保健スタッフになられた方、また使用方法の復習としてもご利用ください。例年、年1回開催しているセミナーと同じ内容です。</p>	目黒 輝久 相談員 (労働衛生工学)
13	7月18日(木) 静岡労政会館	<p><b>職域での循環器疾患対策/不整脈</b></p> <p>職域における労働者の適正配置や両立支援の観点から、様々な疾患に対して必要な措置が取られるべきですが、なかでも循環器疾患は生命に関わるものが少なくないため、それに対する配慮の仕方には慎重を要すると考えられます。特に不整脈関連疾患は意識消失を伴うことがあり、作業上の危険も考慮する必要があります。発症予防も当然重要ですが、どのような対策が必要なのか、具体的な疾患例を含めて概説します。</p>	遠田 和彦 相談員 (産業医学)

回数	開催日	テ ー マ ・ 内 容	講 師
14	7月19日(金) 静岡労政会館	<b>夜勤・交替勤務労働者の健康管理</b>	西 賢一郎 相談員 (産業医学)
		現代社会において、私たちが安心して生活できるのは、様々な業種で24時間絶えず働いているおかげです。夜勤や交替制勤務は人間の生理的な生活スタイルと反した時間に就業するため、健康影響や疾病などを持つ方々が夜勤就業する等の問題が挙げられます。産業保健スタッフとして適切な就業配慮や保健指導を行うために、夜勤・交替制勤務の特徴から、その影響、健康管理に必要な対策をご紹介します。	
15	7月23日(火) 静岡労政会館	<b>騒音障害防止のためのガイドライン</b>	楠 貢 相談員 (労働衛生工学)
		令和5年4月に約30年ぶりに「騒音障害防止のためのガイドライン」が改訂されました。改訂に至る背景や改訂内容の主なポイントを説明していきます。 騒音性難聴は未だに毎年約300件労災新規認定されており、聴力低下が進行してからでは回復が難しい状況です。ガイドラインの内容をもとに騒音性難聴を未然に防止していきましょう。	
16	7月29日(月) あざれあ	<b>地域・職域連携</b>	渡井 いずみ 相談員 (保健指導)
		長期的な国民医療費の抑制と効率的な医療・保健制度整備を目的として、厚生労働省では「地域・職域連携」を推進しています。具体的には、行政保健において働きざかり世代への健康支援策を強化し、産業医や看護職が不在である中小事業場を主なターゲットとして企業内の健康づくり活動の活性化を図っています。今後、大規模事業場はこの事業への協力・参画を自治体から求められる可能性もあります。本セミナーでは、地域・職域連携の最新情報について静岡県内の取組みも交えてお伝えしたいと思います。 第18回(8月2日開催)のセミナーと同じ内容です。	
17	8月1日(木) 静岡労政会館	<b>ストレスと上手につき合おう</b>	伊東 明子 相談員 (カウンセリング)
		ストレスについての基本事項と心身の健康を自分で守っていくためのポイントを学びます。ストレスと上手につきあいながら、たくましくしなやかに日常生活を送っていきましょう。リラクゼーション技法として「自律訓練法」も体験します。	
18	8月2日(金) アクト研修 交流センター	<b>地域・職域連携</b>	渡井 いずみ 相談員 (保健指導)
		第16回(7月29日開催)のセミナーと同じ内容です。	
19	8月23日(金) 静岡労政会館	<b>リラクゼーション技法の実際(自律訓練法)</b>	伊東 明子 相談員 (カウンセリング)
		ストレス社会に生きている私たちはストレスとの上手な付き合い方を身につけなくてはなりません。本講座ではストレスの基礎知識と心身のリラクゼーション技法である「自律訓練法」を学びます。上手にリラックスすることで健康で快適な生活を目指しましょう。	

回数	開催日	テ ー マ ・ 内 容	講 師
20	8月27日(火) 静岡労政会館	作業環境測定において第3管理区分となった作業場に対する新たな規制について	高橋 伸崇 相談員 (労働衛生工学)
		令和6年4月より、有機則等に基づき実施される作業環境測定の結果、第3管理区分に区分され改善が困難な作業場についての新たな規制がスタートしています。本セミナーでは、規制の強化に至った経緯や規制の概要(作業環境管理専門家への意見聴取、保護具選択のための作業呼吸域における濃度測定、保護具着用管理責任者の選任、マスクフィットテストの実施方法)及び事業所としての具体的な対応について解説します。	

## 産業保健セミナー申込書

参加希望 セミナー (回数に○印) ※複数選択可	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回
	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回
	第16回	第17回	第18回	第19回	第20回
事業場名				所属部署	
所在地	〒 -			電 話	
フリガナ				事業の種類	
氏 名	男・女			労働者数	
参加者の職種 (職名に○印)	産業医 安全衛生推進者	保健師 人事労務担当者	看護師 事業主	安全管理者 その他( )	衛生管理者



### セミナーに関する質問を事前に募集します！

講師に聞いてみたいこと、日ごろの疑問などを事前にご記入ください  
セミナー当日、講師が質問者名を伏せて回答いたします

第( )回セミナーへの質問

---



---



---



---



---



---

お問い合わせ

静岡産業保健総合支援センター ☎054-205-0111

申込先 F A X : 0 5 4 - 2 0 5 - 0 1 2 3